

日本で1年間の高校生活を送った 中国の学生たちが、大学進学のために再来日 ～「心連心：中国高校生長期招へい事業」第一期生・第二期生交流会～

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)日中交流センターでは、中国の高校生が日本で約1年間学校生活を送る「心連心：中国高校生長期招へい事業」を2006年から実施し、現在来日中の四期生を含めて、これまでに計**135名**の中国人高校生が来日しています。

1年間の留学の後、中国に帰国した高校生たちの約**3分の1**が再来日して日本の大学に進学しました。

彼らはなぜ日本の大学に進学したのか、1年間の高校生活はどのような影響を与えたのか、そして中国に帰国してからの生活や再来日してみてどう感じたのでしょうか。



<今年3月に北京で行なわれた交流会の様子>

日本国内在住の25名(第一期生12名、第二期生13名)が東京に集まり、交流する会を開催します。現在の思いや将来への展望を語ってもらい、学生同士のつながりを深めるとともに、同窓会ネットワークの構築を目指します。

日時: **2010年6月12日(土)** 15:00～ 事業報告・卒業生による報告、意見交換
18:00～ レセプション
会場: 国際交流基金(新宿区四谷4-4-1) 東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅下車 徒歩5分

取材を希望される方は、下記担当までご連絡ください。

【心連心：中国高校生長期招へい事業】とは

中国政府が推薦する日本語を勉強している高校生の中から、選抜して、約一年間の日本滞在の機会を提供しています。滞在中は、日本各地の高校に原則1校1名ずつ派遣され、日本の高校生と同じ授業を受け、日本の一般家庭や学校の寮で日本人と生活を共にします。日本での生活を通して日本の社会と文化を知ってもらい、また彼らが直接交流することで、“人”と“人”の心のつながりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目指しています。

詳細はウェブサイトをご覧ください。 : <http://www.chinacenter.jp/japanese/kouryu/choki/index.html>

【問い合わせ】 国際交流基金 日中交流センター(担当: 諸田 / 後井)

電話: 03-5369-6074 Fax: 03-5369-6043 E-mail: jc-info@chinacenter.jp